

「交流」と「創造」に向けた 新たな足がかりとなるか!?

山口維新の会

山口市議会報告 第五号
発行責任者 竹中一郎
<https://takenakaichiro.com>
〒753-0251 山口市大内千坊2丁目16-5

「山口ゆめ回廊博覧会」って知っていますか?



この博覧会は、令和3年度（2021年）に県央7市町全体を会場として開催される周遊型博覧会です。「地域通訳士」の育成をはじめ、いろいろな取り組みが進む中、これからの博覧会の市民への周知、市民の関心度と関与については注目していきたいと思えます。

「山口ゆめ回廊地域通訳案内士」育成開始!

山口観光コンベンション協会のホームページから募集要項・研修申込書がダウンロードできます。

<http://yamaguchi-city.jp/information/19254.html>



「バスロケーションシステム」がはじまっています

バスがいつ来るかがわかるバスロケーションシステムが山口市でもスタートしましたので、利便性が向上しました。

市民の皆さんにとって何かと不評な市内の公共交通。このシステムによって市民の皆さんが少しでも使いやすいバスになるのか、利用者の声をしっかり聞いて事業者等に届けていきたいと考えています。

どのバスに乗ればいいのか?

乗ったバスは、いつ着くの?

バスは、いつ来るの?



今すぐアクセス!

左のQRコードを読み取る、またはスマホで検索してアクセスしてください。

バスサイト

検索

走行ルートとバスの位置がわかる!



現在地からバス停を検索!



携帯電話やスマートフォンなどでバスの運行状況が分かる。

バスがあと何分くらいで来るのか、今どこを走っているのかが分かり、最寄りのバス停の検索機能もあるので、バスの利用がより便利になります。利用は無料です。是非使ってみてください。

「観光周遊バス」の運用が変わりました



9月～11月の土日祝日限定で

コミュニティバス&周遊タクシーに
ワンコインで1日乗り放題!!

〈1日乗車券 【大人】500円 【小人】250円〉

観光周遊バスについては、公共交通を使って山口市を訪れる観光客にとってはとても重要な交通手段となるため、これまで、運行継続とあわせ、観光客目線にたって内容を見直すよう指摘してきました。この度、コミュニティバスと周遊タクシーを組み合わせた新たな運行体制に変更され、「山口市観光周遊1日乗車券」としてスタートしました。



香山公園一帯では、観光ボランティアガイドが山口市の歴史をガイドします



やまぐち杖往還語り部の会のガイドが、コミュニティバス(山口駅～五重塔)に同乗します

市議会6月定例会での質問と答弁

「山口市まちなか広場デザイン会議」について

問 同会議の提案内容と「中市まちなか広場」のオープンでは、どのような企画が実施されようとしているのか。

答 中市コミュニティホールNacに隣接する広場、中市まちなか広場の整備を契機とし、中心市街地全体のにぎわいを創出する仕組みづくりを検討する会議である。7月20日の「中市まちなか広場」のオープニングイベントに向けて商店街関係者や大学生、市民活動団体の方など多様な担い手の参加のもと、レザークラフトなど創作系ワークショップによる職業体験コーナーや、体調に合わせてブレンドする薬膳カフェなど、来場者が一緒になって楽しめるものを御提案いただいている。今後、デザイン会議への参加者の思いなどをまとめた報告が山口市ウェブサイトに掲載される予定である。

起業・創業支援について

問 中心市街地の空き店舗などを活用するには、起業・創業する新たな人材の発掘が必要であり、起業・創業する際にハードルとなる資金面での支援を期待する。地域全体が応援できる施策として、クラウドファンディングを活用してはどうか。

答 クラウドファンディング型の補助制度である山口市ふるさと創生推進事業を実施したところ、新事業の創出や起業の促進につながる取り組みが見られた。今後、学生の起業に対する支援を充実させるなど、地域が起業家を応援する仕組みを構築し、資金面での課題を解決に近づけ、空き店舗を活用した起業・創業に取り組む新たな人材を支援していく。

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブの需要が増すことが予想されるが、その対策についてこども未来部の事業のみでは限界があるように感じる。他部局との連携について、市の現状と対策はとうなっているのか。

答 教育委員会所管の放課後子ども教室との連携などについて推進していきたい。放課後児童クラブを開設する際に建設用地の確保が難しい場合には、幼稚園や児童館、地域交流センターなどの公有施設の複合的な活用方法、空き家やアパートなどの民有施設の活用などについて検討していきたい。

救急医療電話相談#7119のスタートについて

問 従前制度(救急相談電話)との変更点や効果は？

答 市消防本部で実施していた救急相談電話を終了し、7月1日より県による救急医療電話相談#7119が開始される。けがや病気に対する緊急度や重症度の判断、また自己受診する場合のタイミング等を医師や看護師といった医療の専門家から直接アドバイスを受けることができるようになり、医療に関する相談も可能となる。それぞれの相談において判断の精度が増し、質の高い電話相談を提供できることから、医療機関受診の適正化が図られ、救急車の適正利用、さらには救急医療機関の負担軽減にもつながるものと考えている。